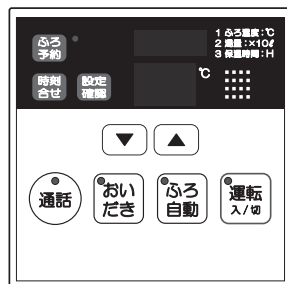
ガス給湯風呂システム用リモコン

給湯リモコン

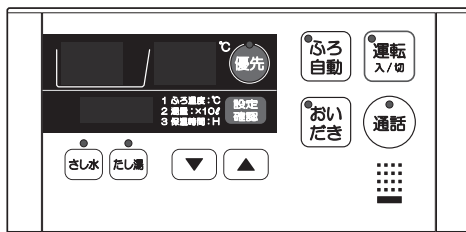
●スタンダードリモコン
MC-126

●ボイスリモコン
MC-126V

●ボイス&インターホンリモコン
MC-126D

ふろリモコン

●スタンダードリモコン
FC-126

●ボイスリモコン
FC-126V

●ボイス&インターホンリモコン
FC-126D

取扱説明書

このたびはガス給湯風呂システム用リモコンをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●給湯風呂システム本体の「取扱説明書」も合わせてご覧ください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合せください。

Paloma

もくじ

ご使用前に

お湯を使う

おふろを入れる

便利な機能

音量の調節

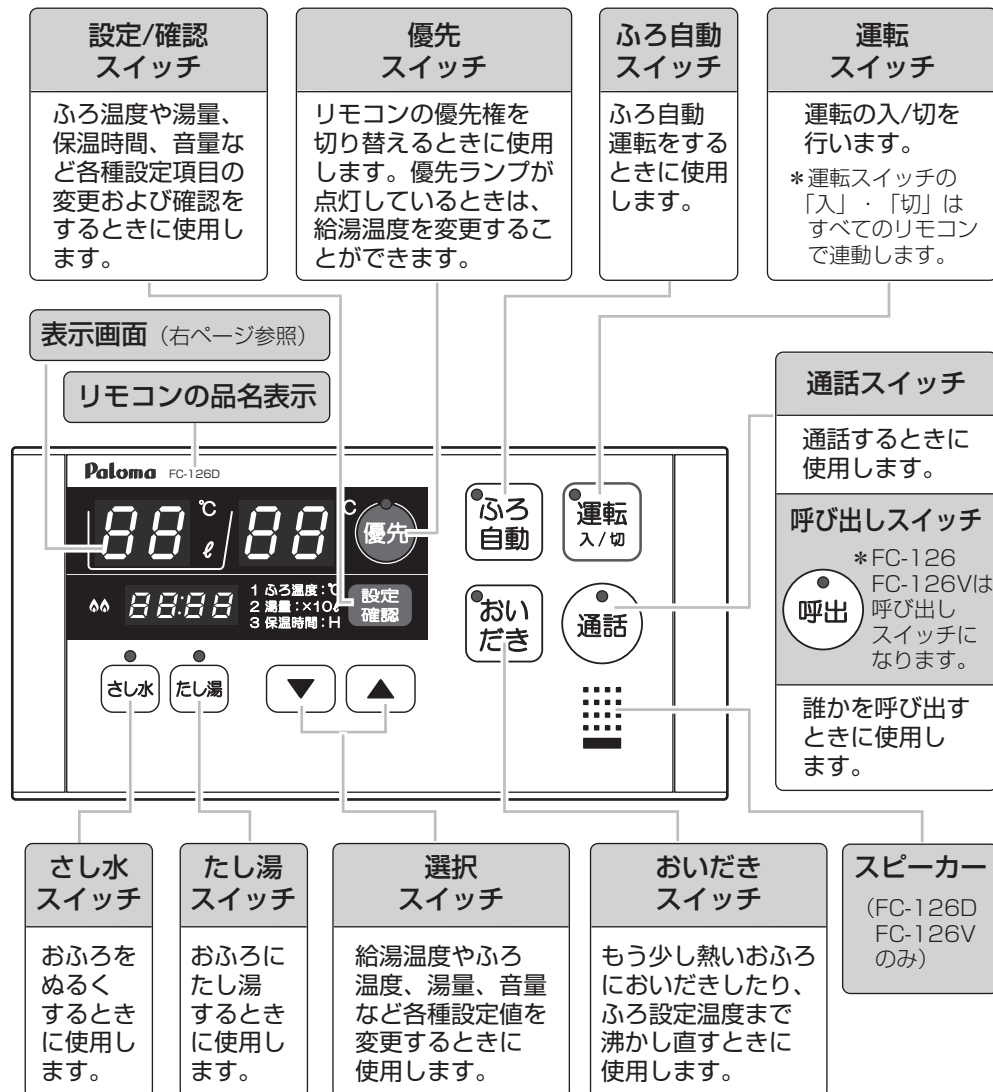
お好みに合わせて設定する

上手に使って長持ちさせるために

各部のなまえとはたらき（ふろリモコン）

＊イラストはFC-126Dリモコンを示しています。

■ふろリモコン　FC-126・FC-126V・FC-126D

●リモコンの品名を確かめてください。リモコンによって仕様が一部異なります。
●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

設定/確認スイッチ
ふろ温度や湯量、保温時間、音量など各種設定項目の変更および確認をするときに使用します。

優先スイッチ
リモコンの優先権を切り替えるときに使用します。優先ランプが点灯しているときは、給湯温度を変更することができます。

ふろ自動スイッチ
ふろ自動運転をするときに使用します。

運転スイッチ
運転の入/切を行います。
＊運転スイッチの「入」・「切」はすべてのリモコンで連動します。

さし水スイッチ
おふろをぬるくするときに使用します。

たし湯スイッチ
おふろにたし湯するときに使用します。

選択スイッチ
給湯温度やふろ温度、湯量、音量など各種設定値を変更するときに使用します。

おいだきスイッチ
もう少し熱いおふろにおいだきしたり、ふろ設定温度まで沸かし直すときに使用します。

スピーカー
（FC-126D
FC-126V
のみ）

※設定項目番号について

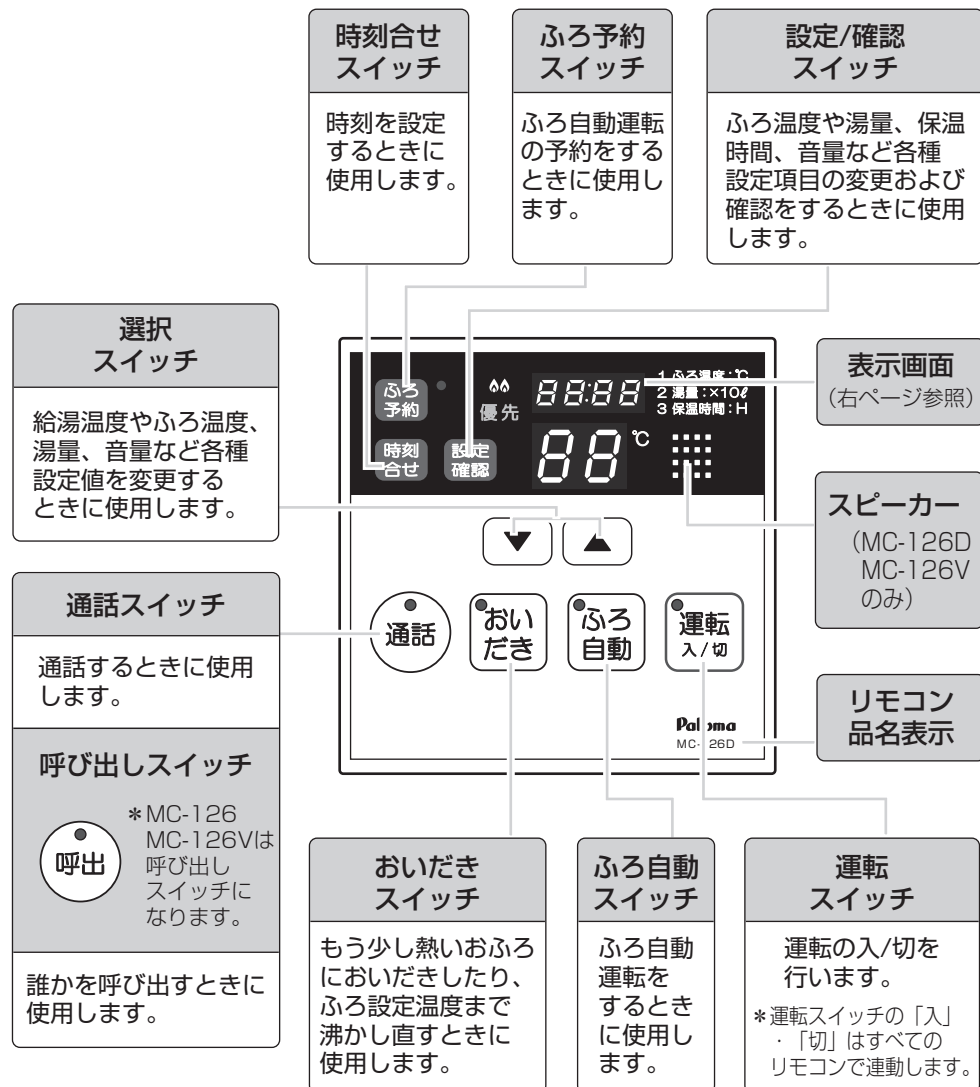
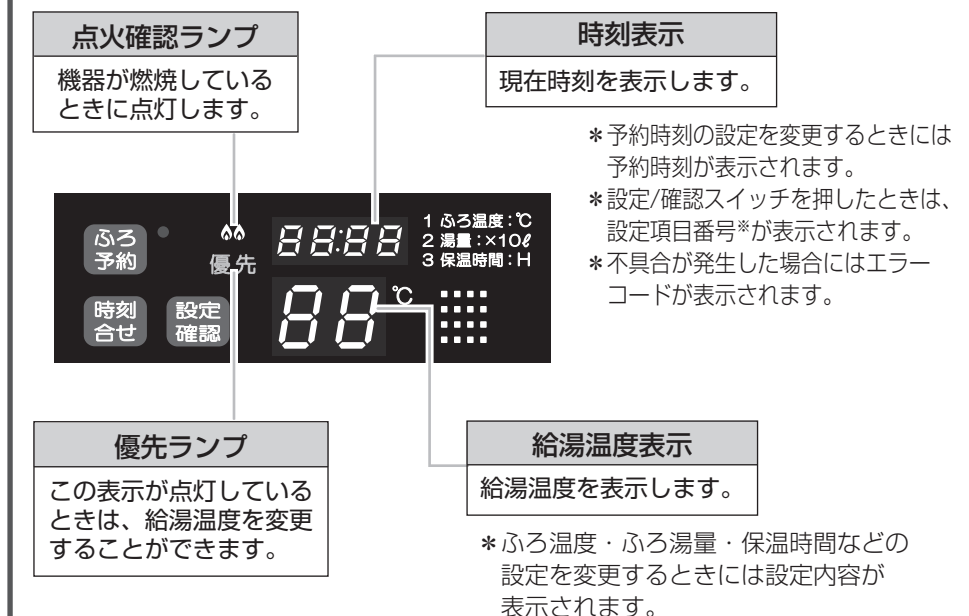
ふろ温度や湯量、保温時間などは「設定／確認」スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
設定項目番号は1～6まであります。運転の「入」「切」の状態で設定できる項目が違います。

運転「入」時設定可能	運転「入」「切」に関係なく設定可能	運転「切」時設定可能
1 ふろ温度 2 ふろ湯量	3 保温時間	4 ボイスガイド音 5 操作確認音 6 配管洗浄

各部のなまえとはたらき（給湯リモコン）

＊イラストはMC-126Dリモコンを示しています。

■給湯リモコン　MC-126・MC-126V・MC-126D

●リモコンの品名を確かめてください。リモコンによって仕様が一部異なります。
●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

時刻合せスイッチ
時刻を設定するときに使用します。

ふろ予約スイッチ
ふろ自動運転の予約をするときに使用します。

設定/確認スイッチ
ふろ温度や湯量、保温時間、音量など各種設定項目の変更および確認をするときに使用します。

選択スイッチ
給湯温度やふろ温度、湯量、音量など各種設定値を変更するときに使用します。

表示画面
（右ページ参照）

スピーカー
（MC-126D MC-126Vのみ）

通話スイッチ
通話するときに使用します。

呼び出しスイッチ
＊MC-126 MC-126Vは呼び出しスイッチになります。
誰かを呼び出すときに使用します。

リモコン品名表示

おいだきスイッチ
もう少し熱いおふろにおいだきしたり、ふろ設定温度まで沸かし直すときに使用します。

ふろ自動スイッチ
ふろ自動運転をするときに使用します。

運転スイッチ
運転の入/切を行います。
＊運転スイッチの「入」・「切」はすべてのリモコンで連動します。

※設定項目番号について

ふろ温度や湯量、保温時間などは「設定／確認」スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
設定項目番号は1～6まであります。運転の「入」「切」の状態で設定できる項目が違います。

運転「入」時設定可能	運転「入」「切」に関係なく設定可能	運転「切」時設定可能
1 ふろ温度 2 ふろ湯量	3 保温時間	4 ボイスガイド音 5 操作確認音 6 配管洗浄

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

禁止

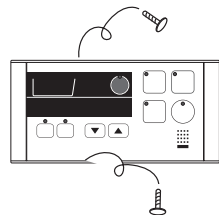
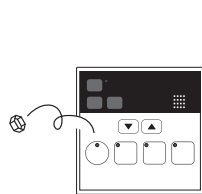
分解禁止

高温注意

必ず行う

⚠警告

絶対に改造・分解は行わない

→改造・分解は思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

分解禁止

おねがい

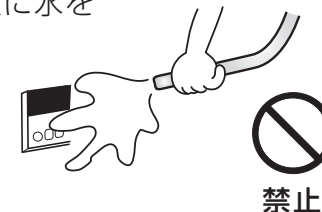
家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
＊この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

おねがい

リモコンの注意

→リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

→ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
給湯リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも注意してください。
故障の原因になります。

禁止

→リモコンは乱暴に扱わないでください。

リモコンの設置場所について

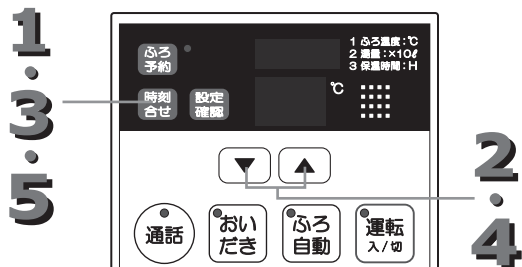
→サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。故障の原因になります。
（5～55℃の範囲内で使用してください。）

→給湯リモコンとふろリモコンの設置が近い場合、通話中にハウリング（キーン等の大きな音がする現象）を起こすことがあります。このような場合には、リモコンの設置場所や向きの変更が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。※MC-126D,FC-126Dリモコンのみ

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

→大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

現在時刻を設定するには

■給湯リモコン

◆給湯リモコンで設定します。

◎運転スイッチの「入」「切」に
関係なく設定することができます。
ここでは運転「切」時でご説明します。

●現在時刻設定は給湯リモコンで行い、ふろリモコンにも表示されます。
ふろリモコンのみお求めの場合は現在時刻の表示はできません。
●現在時刻を設定しないと予約運転ができません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、再度設定を行ってください。
（停電や電源プラグが抜けていた間の時刻が遅れます。）

1 時刻合せスイッチを長押しする（2秒以上）

現在時刻表示の「時」が点滅表示

2 選択スイッチを押し、「時」を設定する

●押し続けると連続して変わります。
●「時」は24時間表示です。

3 時刻合せスイッチを押す

「分」が点滅表示

●「時」の設定が完了し、
「分」の設定に切り替わります。

4 選択スイッチを押し、「分」を設定する

●押し続けると連続して変わります。

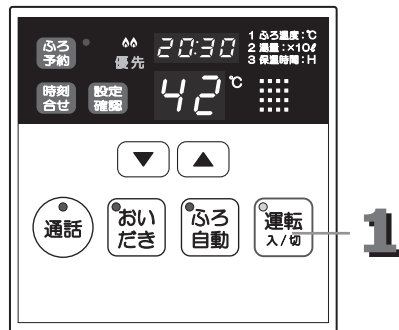
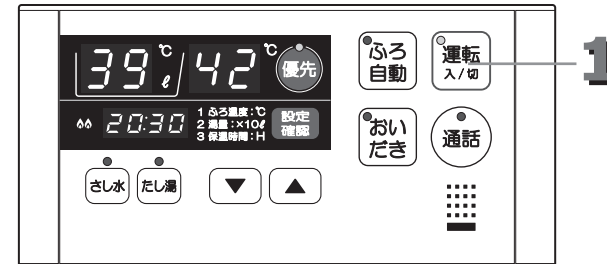
5 時刻合せスイッチを押す

現在時刻が消灯

●時刻設定が完了します。
●時刻合せスイッチを押さずに、そのまま約3分経過すると
そのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

時刻表示はリモコンの運転が「切」の場合は消灯しますが、
お好みにより常時点灯に切り替えることができます。（55ページ）

お湯を出すには

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■ふろリモコン

1 **運転スイッチを押し、運転ランプの点灯を確認する**

前回設定の温度

2 **給湯栓を開ける**

燃焼ランプ点灯

3 **給湯栓を閉める**

燃焼ランプ消灯

⚠ 警告

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの優先スイッチを押して優先にする

必ず行う

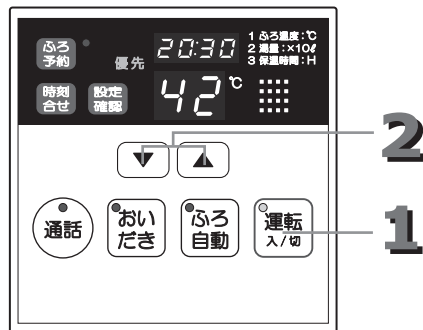
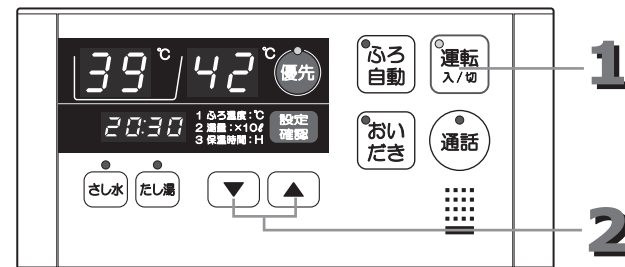
→優先にしないと給湯リモコンで温度を変更できるため
やけどのおそれがあります。

＊ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。
＊優先スイッチの使いかたを参照してください。（15ページ）

知っておいてね

●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によっては、ほとんどお湯が出ないことがあります。
●お湯はり・たし湯中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。
●「さし水」中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると水が出ます。
●リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温の高い場合、リモコンの設定温度よりも高いお湯が出ることがあります。

給湯温度を調節するには

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■ふろリモコン

1 運転スイッチを押し、運転を「入」にする

または、
優先ランプの点灯を確認する

優先ランプ点灯

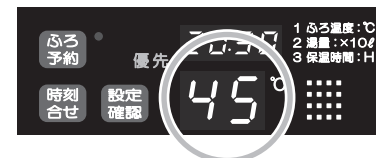
●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
●運転「入」時でも優先ランプが点灯していないと給湯温度を変更することができません。（15ページ参照）

⚠ 警告

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの優先スイッチを押して優先にする

→優先にしないと給湯リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。

＊ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。
＊優先スイッチの使いかたを参照してください。（15ページ）

2 選択スイッチを押し、給湯温度を変更する

変更後の給湯温度

●38℃～45℃の間は押し続けると連続して変わります。
それ以降は46、47、48、50、60℃と変わります。
＊60℃設定にした場合、注意を促すため、音声や音で熱いお湯が出ることをお知らせします。
＊お使いの給湯風呂システムによっては上記の温度以外にも設定できる場合があります。
（詳しくはお使いの給湯風呂システムの取扱説明書をご覧ください。）
●設定を記憶します。

給湯温度のめやす

＊お使いの給湯風呂システムによって設定できる温度が異なります。
（詳しくはお使いの給湯風呂システムの取扱説明書をご覧ください。）

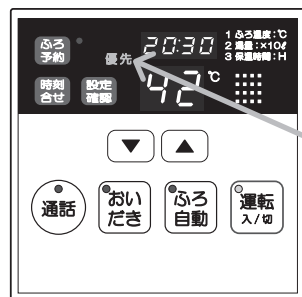
38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60

ややぬるめ　適温　ややあつめ　あつい

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。
表示の温度はめやすとしてください。

優先スイッチの使いかた

給湯配管先と浴室では同じ温度のお湯を供給します。
（給湯リモコンとふろリモコンは常に同じ給湯温度を表示します。）
そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。
このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変えられないようになっています。

■給湯リモコン
MC-126
MC-126V
MC-126D

■ふろリモコン
FC-126
FC-126V
FC-126D

＊イラストはMC-126Dリモコンを示します。

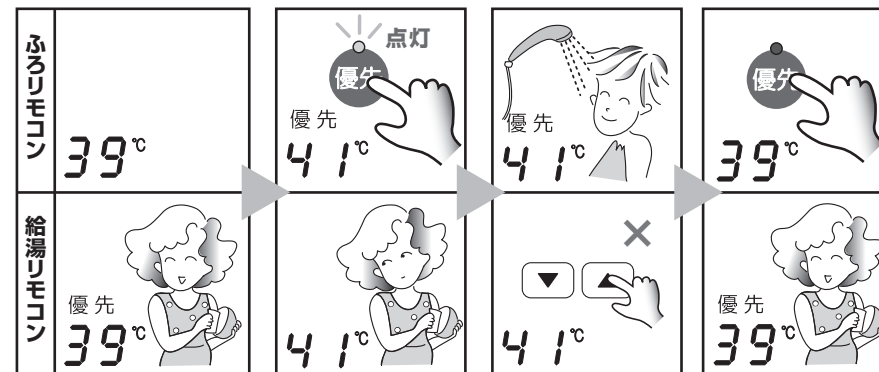
ふろリモコンの優先スイッチを押す

●ふろリモコンの優先スイッチを1回押すごとに「ふろリモコン」と「給湯リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。
（優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。）

「ふろリモコン」 ⇄ 「給湯リモコン」

点灯
優先

●給湯リモコンを増設した場合は増設したリモコンと給湯リモコンの間では優先権はなく、同じ動作をします。
●給湯リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度リモコンの運転を「切」にし、再度「入」にして優先ランプを点灯させてからご使用ください。
※おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
●リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。

給湯リモコンとふろリモコンはそれぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。
優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。

●優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
●給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。

⚠ 警告

お湯を使用するときはやけどに注意する

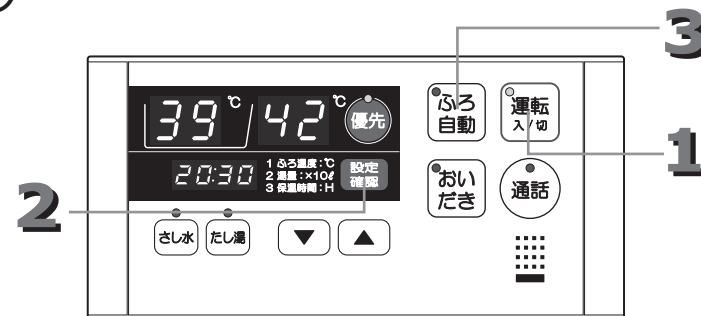
高温注意

●高温設定にした場合、熱いお湯がでますので十分に注意してください。
●高温で使用した後、あらためて使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。やけど予防のために出始めのお湯は体にかけないでください。
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にふろリモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。必ずふろリモコンの優先スイッチを押し、ふろリモコンを優先にしてください。
※ふろリモコンを優先中は給湯リモコンの運転を切ったり、入れたりしないでください。給湯リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
●給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。

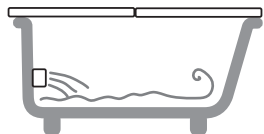
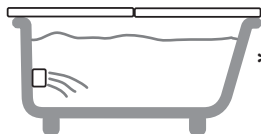
ふろ自動運転でおふろを入れるには

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■ふろリモコン

ふろ自動運転とは…

ふろ自動スイッチを押すと次の動作を
機器が自動で行います。

お好みの温度で
お湯はり開始

設定した湯量になれば
お湯はりをストップして
お知らせします

＊お湯が設定温度より
低めの時はすぐに
自動で追いだきします。

沸き上がり
から
9時間以内

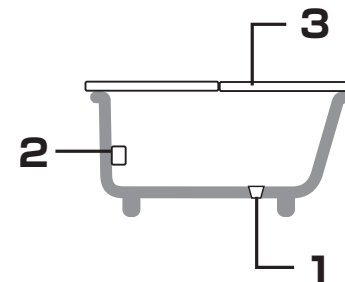
お湯が冷めたら
自動で追いだき
します

さらに
フルオートタイプは
お湯が減ったら
自動でたし湯します

運転前の準備

1．浴そうの排水栓を閉める

2．浴そうのバスアダプターに
フィルターがついていることを
確かめる

3．浴そうのふたをする

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、
運転スイッチを押し、運転を「入」に
してください。

ふろ自動運転でおふろを入れるには

2 ふろ温度・ふろ湯量・保温時間を確認する

設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

●ふろ温度の調節は23ページを参照してください。
●ふろ湯量の調節は25ページを参照してください。
●保温時間の変更は27ページを参照してください。

1 ふろ温度

ふろ温度点滅

2 ふろ湯量

ふろ湯量点滅

3 保温時間

保温時間点滅

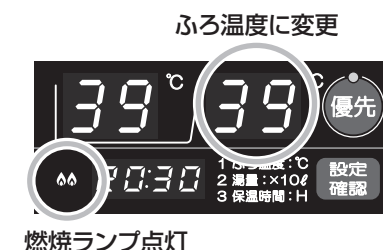
3 ふろ自動スイッチを押す

点灯

ふろ
自動

ふろ温度に変更

燃焼ランプ点灯

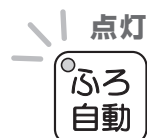
●ふろ自動運転を開始します。

知っておいてね

●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり時間が長くかかる場合があります。
●お湯はり中に時々お湯はりや燃焼を中断してお湯はり時間がかかることがありますが、これはお湯はり途中の水位を検出したり、浴そう内の残り湯を検出するためで異常ではありません。
●お湯はり中に給湯栓から浴そうにお湯を入れたりするとお湯があふれることがあります。
●お湯はり中は、おいだき・たし湯・さし水は行えません。
●リモコンの設定温度を低くしているときや、夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも沸き上がり温度が高くなることがあります。

ふろ自動運転でおふろを入れるには

お湯はり終了後、自動的に保温/たし湯運転に入ります

※オートタイプの場合は、
自動でたし湯する機能が
ありません。

給湯温度に戻る

●お湯はりが終了すると
音声や音でお知らせします。

保温時間終了後

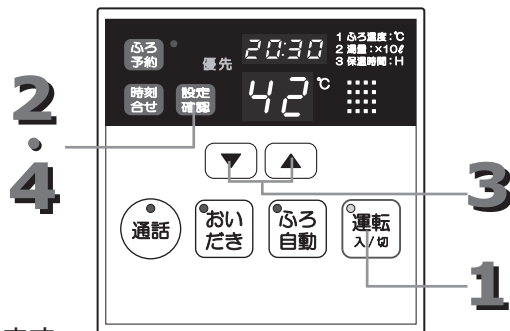
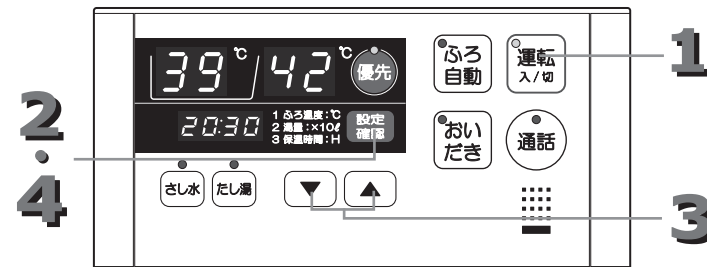
●**設定の保温時間が終了すると**自動停止し、ふろ自動スイッチの
ランプが消灯します。
（保温時間の初期設定は4時間です。）
●給湯リモコンのふろ自動スイッチのランプも消灯します。

ふろ自動運転を途中でやめたいとき
もう一度

ふろ自動運転で残り湯を沸かし直す

残り湯にたし湯してから沸かし直したいときも、「ふろ自動運転」
と同じ操作をしてください。
お湯が減っている場合は設定湯量までたし湯したうえで設定温度に
沸かし上げます。
詳しくは33ページを参照ください。
（たし湯不要の場合は31ページ参照）

ふろ温度を調節するには

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■ふろリモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番目「1」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

ふろ温度のめやす

＊お使いの給湯風呂システムによって設定できる温度が異なります。
（詳しくはお使いの給湯風呂システムの取扱説明書をご覧ください。）

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

ややぬるめ　　適温　　ややあつめ

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。
表示の温度はめやすとしてください。

3 選択スイッチを押し、ふろ温度を設定する

●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。
38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
※お使いの給湯風呂システムによっては上記の温度以外にも設定できる場合があります。
（詳しくはお使いの給湯風呂システムの取扱説明書をご覧ください。）

4 設定/確認スイッチを押す

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

ふろ湯量を調節するには

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■ふろリモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

現在のふろ湯量点滅

設定項目番号

設定項目番号「2」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

3 選択スイッチを押し、ふろ湯量を設定する

ふろ湯量点滅

●100ℓ～300ℓまでは20ℓずつ、それ以降は350ℓ、400ℓ、450ℓ、500ℓ(990ℓ)まで調節できます。
押し続けると連続して変わります。
※( )内の湯量はオートタイプのみ。
●お使いの給湯風呂システムによっては100ℓ～500ℓまで10ℓずつ調節できる機器もあります。
（詳しくはお使いの給湯風呂システムの取扱説明書をご覧ください。）

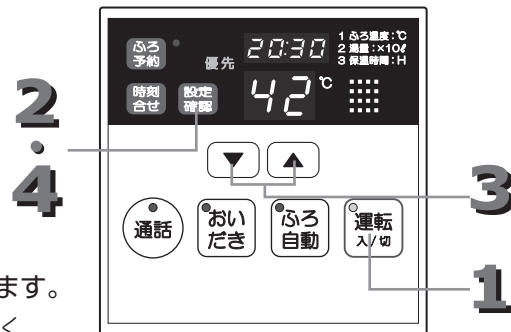
●初期設定は180ℓです。
（1.5人用の一般的な浴そうを基準にしています。）

4 設定/確認スイッチを押す

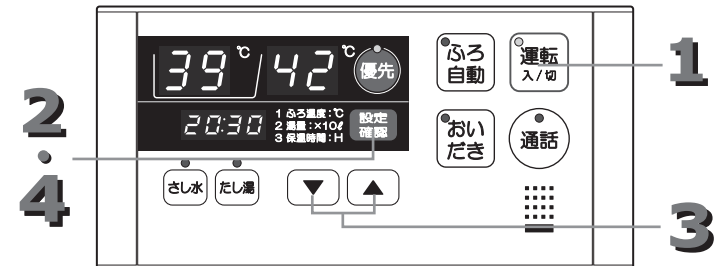
ふろ温度表示

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

保温時間を変更するには

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく
設定することができます。
ここでは運転「入」時でご説明します。

■ふろリモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、
運転スイッチを押し、運転を「入」に
してください。

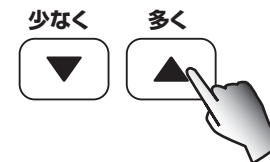
2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「3」を選択する

現在の保温時間点滅

設定項目番号

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

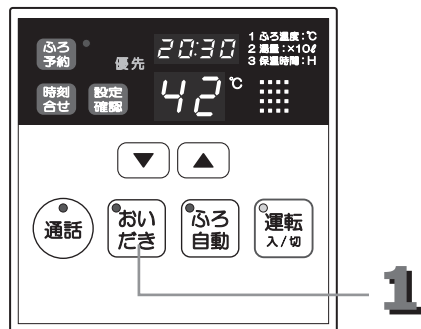
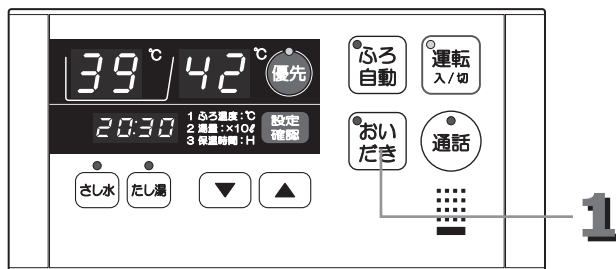
3 選択スイッチを押し、保温時間を設定する

●0時間～９時間まで選択できます。
●初期設定は４時間です。

4 設定/確認スイッチを押す

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま
約30秒経過するとそのときの設定内容で
自動的に設定が完了します。

おふろをあつくするには【保温中のおいだき】

自動保温中、ふろ設定温度より一時的にもう少しあつくしたいと思ったときに、
スイッチ１つでおいだきできます。（設定温度プラス1～3℃まで）

■給湯リモコン

■ふろリモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

運転前の準備

**浴そうのバスアダプターの上端より
5ｃｍ以上お湯が入っていることを
確認する**

5cm未満の場合、空だきの
おそれがあります。

1 おいだきスイッチを押す

点灯

おいだき温度点滅

おいだきスイッチを押すと
おいだき温度（設定温度+1℃）が
点滅し、**設定温度より1℃高い温度
までおいだきします。**

おいだき温度点滅中に
おいだきスイッチを押すごとに、
**「設定温度+2℃」→「設定温度+3℃」
→「おいだき 切」**と調節できます。

※ふろ温度の最高温度（48℃）より
高い温度にはおいだきできません。

おいだき終了後

●その後自動的に止まります。

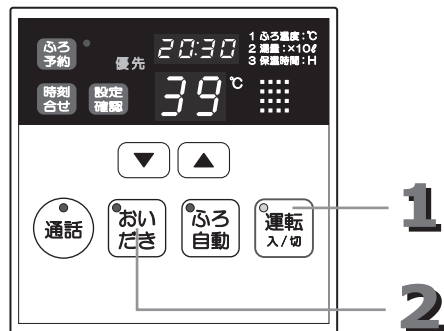
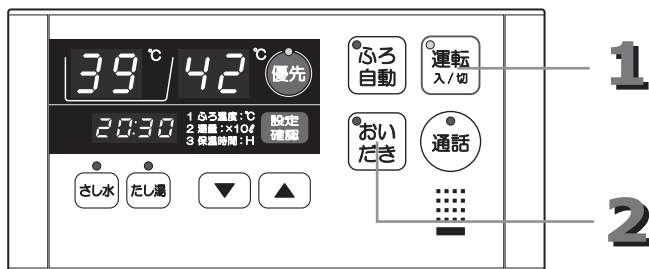
※おいだき終了後、もとの設定温度に
戻ります。

おいだきを途中でやめたいとき
もう一度

おふろを沸かし直すには【保温中以外のおいだき】

残り湯を沸かし直す（保温・たし湯しない）

前日の残り湯を沸かし直したいけれども、たし湯も保温も不要のとき、
または沸かし直し直後、もう少しあつくしたいときはおいだき機能を
使って沸かし上げます。

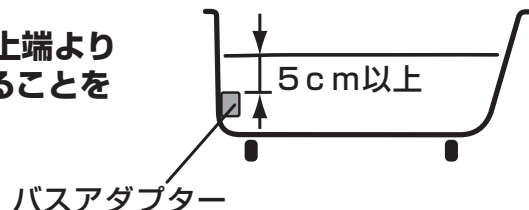
■給湯リモコン

■ふろリモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

運転前の準備

**浴そうのバスアダプターの上端より
5cm以上お湯が入っていることを
確認する**

5cm未満の場合、空だきの
おそれがあります。

5cm以上

バスアダプター

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない
場合は、運転スイッチを押し、
運転を「入」にしてください。

2 おいだきスイッチを押す

おいだきスイッチを押すと
おいだき温度（設定温度）が点滅し、
設定温度までおいだきします。

おいだき温度点滅中においだきスイッチを
押すごとに、
**「設定温度+1℃」→「設定温度+2℃」→
「設定温度+3℃」→「おいだき 切」**
と調節できます。

※ふろ温度の最高温度（48℃）より
高い温度にはおいだきできません。

●その後自動的に止まります。
※おいだき終了後、もとの設定温度に戻ります。

おいだき終了後

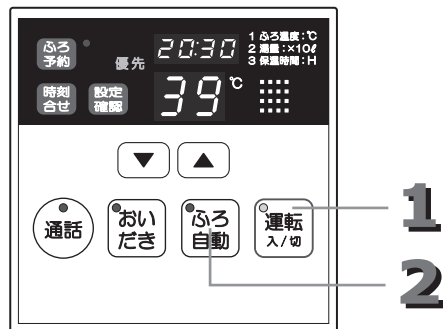
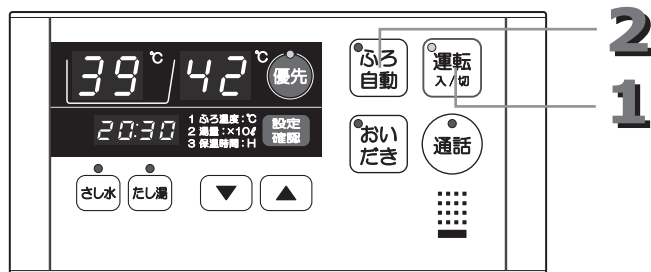
沸かし直しを途中でやめたいとき
もう一度

押す

おふろを沸かし直すには【保温中以外のおいだき】

残り湯を沸かし直す（保温・たし湯する）

残り湯にたし湯してから沸かし直したいときは、「ふろ自動運転」と同じ操作をしてください。（「ふろ自動運転でおふろを入れるには」17ページ参照）
お湯が減っている場合は設定湯量までたし湯したうえで設定温度に沸かし上げます。

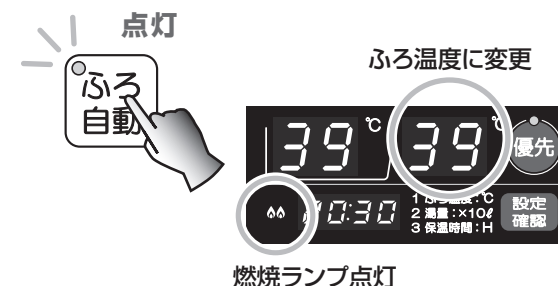
■給湯リモコン

■ふろリモコン

知っておいてね

- ●残り湯が浴そうのバスアダプターの上端より5cm以上に満たない場合に自動運転を行うと、残り湯を検出できず、残り湯に設定湯量をたすことになります。この場合、残り湯の分だけ設定湯量より湯量が増えるため、浴そうからお湯があふれることがあります。
- ●沸かし直しの場合は、設定湯量に対して多少の増減があります。
- ●残り湯が設定湯量近くある場合でも、残り湯を検出するためのたし湯を行います。
- ●設定温度付近のお湯が残っている状態で「自動運転」を行うと、たし湯しないことや、湯量が多少ばらつくことがあります。

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

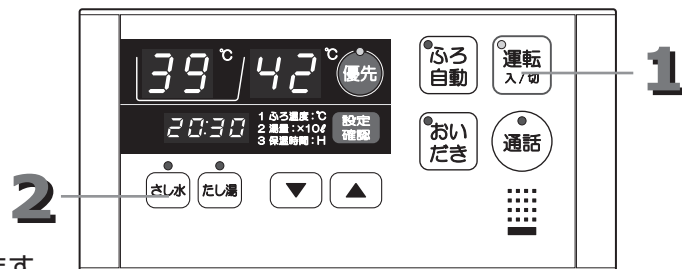
1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 ふろ自動スイッチを押す

沸かし直しを途中でやめたいとき
もう一度　ふろ自動　押す

おふろをぬるくするには

入浴時お湯の温度をもう少しぬるくしたいと思ったときに適量の水を
給水して湯温を下げる機能です。

■ふろリモコン

◆ふろリモコンで行います。

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、
運転を「入」にしてください。

2 さし水スイッチを押す

●ふろ設定温度より約1℃下がる程度の水（10 ℓ）が入ります。

知っておいてね

●さし水スイッチを押すと、ふろ配管内の残り湯を押し出し、配管内に新しい
水が流れ込むため、配管洗浄機能と同様の効果があります。(59ページ)

おふろにお湯をたすには

お湯の量を増やしたいと思ったときに適量のお湯をたす機能です。

■ふろリモコン

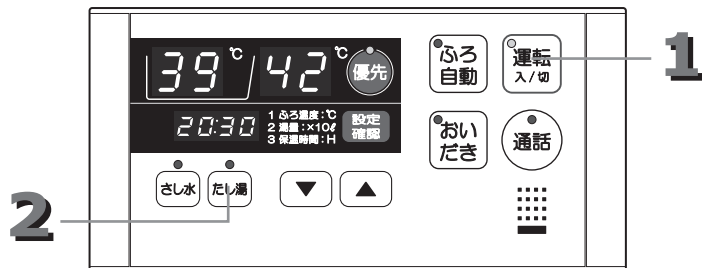
◆ふろリモコンで行います。

たし湯を途中でやめたいとき もう一度

たし湯

押す

1 運転ランプの点灯を確認する

点灯

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 たし湯スイッチを押す

点灯

たし湯量点滅　ふろ温度表示

たし湯スイッチを押すとたし湯量が点滅し、**ふろ設定温度のお湯を20ℓたし湯します。**

たし湯中

たし湯量が点滅中にたし湯スイッチを押すごとに
「20ℓ」→「40ℓ」→「60ℓ」→「たし湯 切」とたし湯量を調節できます。

たし湯終了後　給湯温度表示

●たし湯中は給湯温度表示部分にふろの設定温度が表示されます。
→台所など、おふろ以外の場所でお湯を使用した場合、ふろの設定温度のお湯が出ます。
●その後自動的に止まります。
※たし湯を行っても設定湯量は変わりません。

知っておいてね

●たし湯スイッチを押すと、ふろ配管内の残り湯を押し出し、配管内に新しいお湯が流れ込むため、配管洗浄機能と同様の効果があります。（59ページ）

予約時刻を設定するには

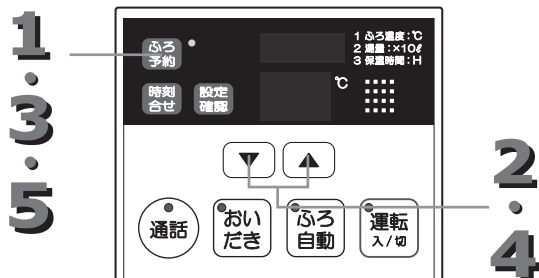
■給湯リモコン

◆給湯リモコンで設定します。
◆ふろリモコンのみお求めの場合は予約運転は行えません。
◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 ふろ予約スイッチを長押しする（2秒以上）

点滅

ふろ予約ランプが点滅

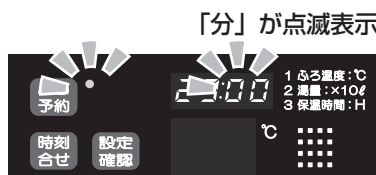
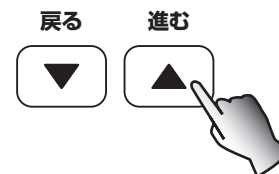
時刻表示の「時」が点滅表示

2 選択スイッチを押し、「時」を設定する

●押し続けると連続して変わります。
●「時」は24時間表示です。

3 ふろ予約スイッチを押す

●「時」の設定が完了し、「分」の設定に切り替わります。

点滅

「分」が点滅表示

4 選択スイッチを押し、「分」を設定する

●押し続けると連続して変わります。

5 ふろ予約スイッチを押す

消灯

●予約時刻を設定しました。
●設定を記憶します。
●ふろ予約スイッチを押さずに、そのまま約3分経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

予約運転でおふろを入れるには

設定された予約時刻までに、お湯はりを完了します。

■給湯リモコン

◆給湯リモコンで設定します。
◆ふろリモコンのみお求めの場合は
予約運転が行えません。

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ただし、手順 **1** は運転「入」時に確認してください。

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める
2. 浴そうのバスアダプターにフィルターがついていることを確かめる
3. 浴そうのふたをする

1 ふろ温度・ふろ湯量・保温時間・現在時刻を確認する

運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

‼ 重要

予約運転を行う前に現在時刻と予約時刻を設定してください

※現在時刻と予約時刻の設定をしていないと予約運転をセットすることができません。
（「予約時刻を設定するには」39ページ参照
「現在時刻を設定するには」9ページ参照）

設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

2 ふろ湯量

●現在時刻の設定は9ページを参照してください。

3 保温時間

ふろ予約 優先 3 4℃ 時刻合せ 設定確認
保温時間点滅

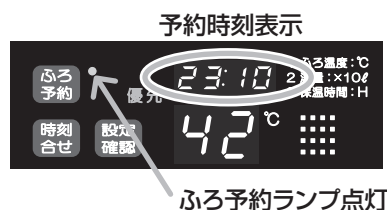
現在時刻の設定をしていないと予約運転をセットすることができません。

●ふろ温度の調節は23ページを参照してください。
●ふろ湯量の調節は25ページを参照してください。
●保温時間の変更は27ページを参照してください。

予約運転でおふろを入れるには

ふろ予約スイッチを押す

●数秒間予約時刻を表示した後、
現在時刻を表示します。

※予約時刻の設定をしていないと
予約運転をセットすることが
できません。
（「予約時刻を設定するには」
39ページ参照）

予約待機中に予約運転をやめたいとき

予約運転開始後に予約運転をやめたいとき

知っておいてね

●現在時刻から予約時刻までが30分以内で運転の予約をした場合には、すぐにお湯はりを開始しますがお湯はり完了が予約時刻より遅くなります。また、運転の予約が予約時刻を過ぎていると、翌日の予約となりますのでご注意ください。
●冬期、水温が低いときや、お湯はり中に他で給湯使用している場合などは、予約時刻までに完了しないことがあります。
●リモコンの設定温度を低くしている時や、夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも沸き上がり温度が高くなることがあります。
●浴そうに残り湯があるときに予約運転を行うと、予約時刻までに完了しないことがあります。

呼び出すには

リモコンの呼び出し音を鳴らして人を呼び出せます。
※呼び出し機能ですので、通話することはできません。

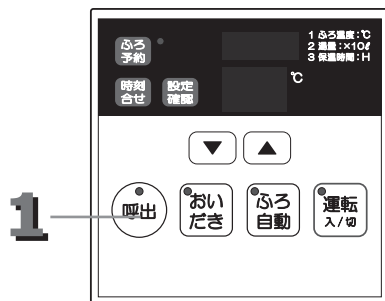
■給湯リモコン

MC-126
MC-126Vリモコン

1

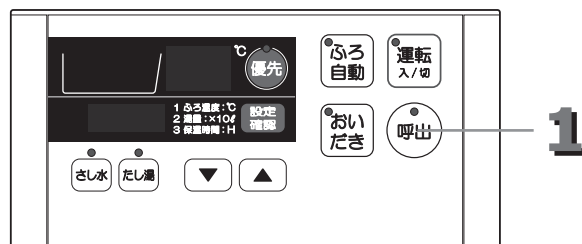
■ふろリモコン

FC-126
FC-126Vリモコン

1

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。

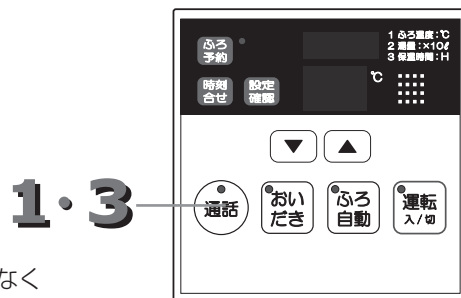
◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用することができます。
ここでは運転「切」時でご説明します。

呼出スイッチを押す

●全てのリモコンで呼び出し音が鳴ります。
一度押すと、約4秒間鳴ります。

おふろと台所で通話するには

■給湯リモコン
MC-126Dリモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
どちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンで
ご説明します。

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく
使用することができます。
ここでは運転「切」時でご説明します。

■ふろリモコン
FC-126Dリモコン

1 通話スイッチを押す

●相手側のリモコンで呼び出しメロディが流れ、
相手を呼び出します。

2 通話する

●給湯リモコン側からは通話スイッチを押しながら通話します。
（通話ランプ：点滅）

言葉が途切れたり、声が小さい場合は、リモコンに近づいて通話してください。

●ふろリモコン側からはハンズフリー（両手があいた状態）で通話できます。
（通話ランプ：点灯）

3 通話スイッチを押す

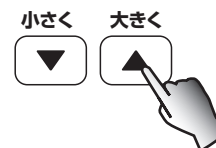
●通話を終了します。
●相手側のリモコンも連動します。
●通話スイッチを「入」にしてから1時間で自動的に「切」になります。

安心モニター

通話スイッチを「入」にしておくと、音で浴室の様子がわかり、万一の場合を早く察知することができます。
また、プライバシー保護のため、モニター機能作動中のときは
通話ランプが点灯するようになっています。

点灯
通話

通話の音量を調節するには 運転「切」時のみ設定できます

通話中に
選択スイッチを押し、
音量調節する

●音量は「1（小）」「2（標準）」「3（大）」に調節できます。
●初期設定は「2」です。

● ▲ スイッチを押すごとに、
1→2→3、
▼ スイッチを押すごとに、
3→2→1と音量が切り替わります。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。
両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

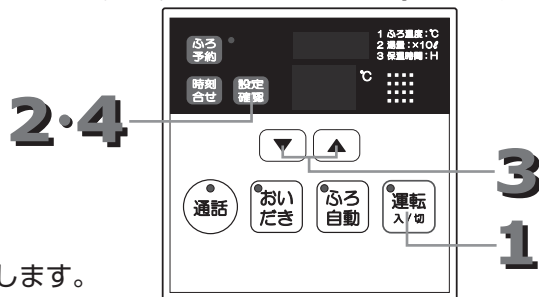
知っておいてね

●通話中にリモコンのスイッチを押したり、燃焼ランプが点灯したとき、
音声が途切れることがありますが異常ではありません。
●増設したリモコン(MC-126/MC-126V)は、他のリモコンからの通話
スイッチには反応しません。
ただし、増設したリモコン(MC-126/MC-126V)から呼び出しスイッチを
押すと、全てのリモコンで呼び出し音が鳴ります。

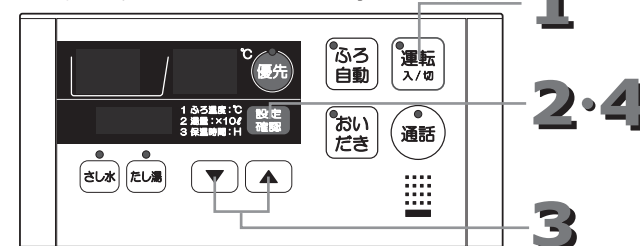
ボイスガイドの音量を調節するには

ボイスガイドの音量を調節します。

■給湯リモコン
MC-126V
MC-126D

＊イラストはMC-126Dリモコンを示しています。

◆給湯リモコン・ふろリモコン
それぞれで設定します。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■ふろリモコン
FC-126V
FC-126D

＊イラストはFC-126Dリモコンを示しています。

1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「4」を選択する

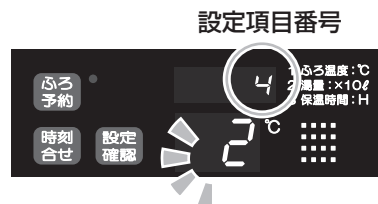
設定項目番号

現在の音量が点滅

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「4、ボイスガイド音」→「5、操作確認音」→「6、配管洗浄」→「切」と切り替わります。

※設定項目番号1～2は運転「入」時のみ変更可能な項目のため、表示画面に設定内容は表示されません。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

3 選択スイッチを押し、音量を設定する

●音量は「0（消音）」「1（小）」「2（標準）」「3（大）」に調節できます。
●初期設定は「2」です。

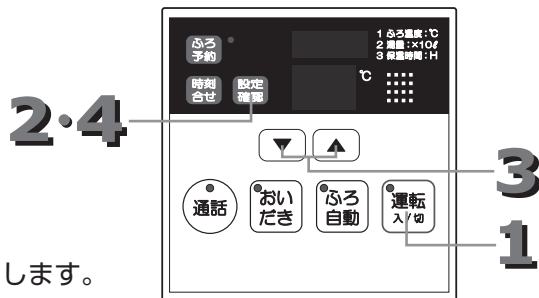
● ▲スイッチを押すごとに、0→1→2→3、▼スイッチを押すごとに、3→2→1→0と音量が切り替わります。

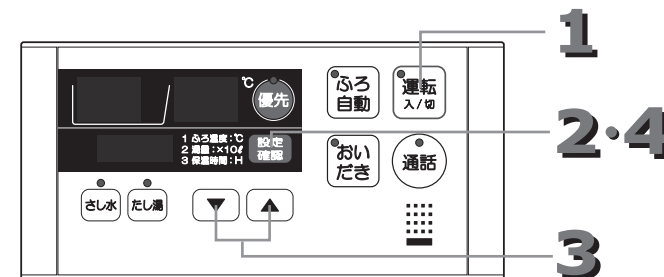
4 設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過すると自動的に設定が完了します。

操作確認音・お知らせ音の音量を調節するには

操作確認音、お知らせメロディ・ブザー、呼び出しメロディ・ブザーの音量を調節します。

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
それぞれで設定します。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■ふろリモコン

≪調節できる音の種類≫

●操作確認音…スイッチを押したときに鳴る音
●お知らせメロディ・ブザー…おふろが沸いたときなどのお知らせ音
●呼び出しメロディ・ブザー…呼び出しや通話のときの呼び出し音

■MC-126, FC-126の場合

音量表示	操作確認音お知らせブザー	呼び出しブザー
0	消音	小
1	小	小
2	大	大

■MC-126V, MC-126D, FC-126V, FC-126Dの場合

音量表示	操作確認音お知らせメロディ	呼び出しメロディ
0	消音	小
1	小	小
2	標準	標準
3	大	大

※音量表示を「0」にしても、呼び出しメロディ・ブザーは「小」のままで「消音」にはなりません。

1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「5」を選択する

設定項目番号

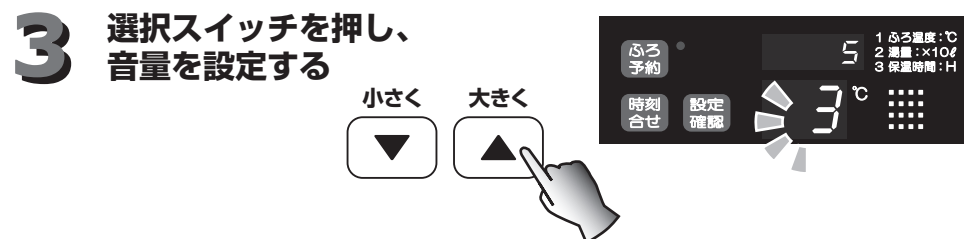
現在の音量が点滅

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「4、ボイスガイド音」→「5、操作確認音」→「6、配管洗浄」→「切」と切り替わります。

※設定項目番号1～2は運転「入」時のみ変更可能な項目のため、表示画面に設定内容は表示されません。

※設定項目番号4はMC-126・FC-126リモコンでは設定がないため、表示画面に設定内容は表示されません。

操作確認音・お知らせ音の音量を調節するには

3 選択スイッチを押し、音量を設定する

■MC-126，FC-126の場合

●音量は、0〜2段階に調節できます。
●初期設定は「2」です。
●［▲］スイッチを押すごとに、0→1→2、［▼］スイッチを押すごとに、2→1→0と音量が切り替わります。

■MC-126V，MC-126D，FC-126V，FC-126Dの場合

●音量は、0〜3段階に調節できます。
●初期設定は「2」です。
●［▲］スイッチを押すごとに、0→1→2→3、［▼］スイッチを押すごとに、3→2→1→0と音量が切り替わります。

4 設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

知っておいてね

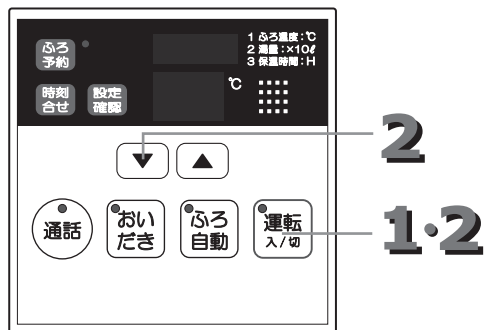
●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

省電力モードについて

省電力モードとは、運転スイッチを押し、運転を「入」の状態で約10分間リモコンの操作を行わないと、自動的にリモコンの表示画面が消える設定のことです。（※スイッチのランプは消えません。）
現在時刻を常時点灯させるには省電力モードを解除してください。

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定できます。ここでは給湯リモコンでご説明します。

◎初期設定は省電力モードに設定されています。

■ふろリモコン

1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。

2 選択スイッチの ▼ を押しながら運転スイッチを押す

押しながら

押す

現在時刻を表示

※現在時刻を設定していないと表示されません。
※省電力モードを解除すると運転の「入」「切」に関係なく現在時刻を常時表示します。

●省電力モードが解除されます。
●省電力モードを再設定する場合も同様の操作を行ってください。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、省電力モードに戻ります。
●省電力モードになった状態でリモコンのスイッチを押すと表示画面が点灯します。表示画面が点灯した状態で操作を開始してください。
●下記の場合、省電力モードは機能しません。

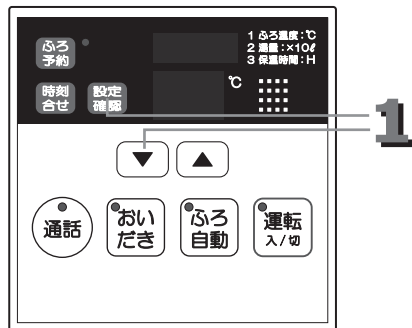
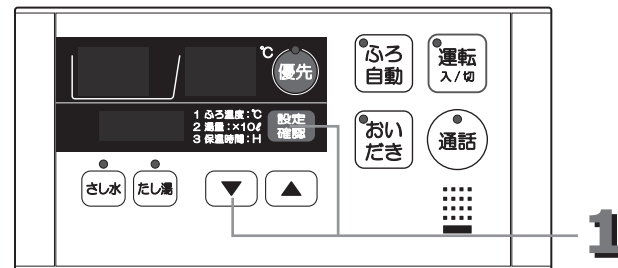
◎運転スイッチ以外の操作をしている場合
◎予約運転が設定されている場合
◎通話スイッチが「入」の場合
◎給湯温度が60℃に設定されている場合
◎燃焼している場合（燃焼ランプ 🔥🔥 点灯中）
◎保温中の場合

チャイルドロックを設定するには

小さなお子さまのいたずらによる事故を防止するため、
ロック機能がついています。

■給湯リモコン

◆給湯リモコン・ふろリモコン
それぞれで設定できます。
ここでは給湯リモコンで
ご説明します。

◎運転スイッチの「入」「切」に
関係なく設定することができます。
ここでは運転「切」時でご説明します。

■ふろリモコン

設定/確認スイッチを押しながら
選択スイッチ ▼ を押す

●解除するには再度、同様の操作を行ってください。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。

●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。
（初期設定はオフです）

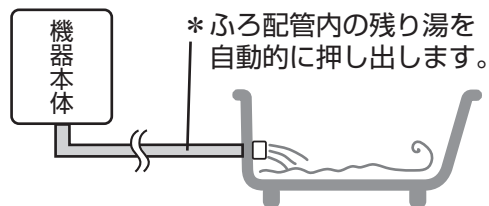
●チャイルドロックを設定している場合でも下記の操作は行うことができます。
それ以外の操作をしようとすると表示画面に「ーー」が表示されます。

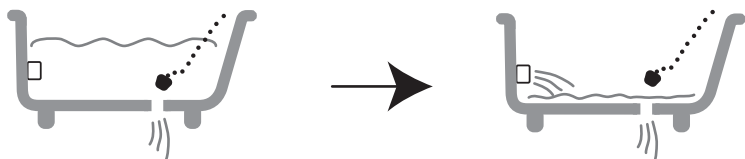
◎運転スイッチの「切」
◎通話機能の操作（MC-126D、FC-126D）
呼び出し機能の操作（MC-126、MC-126V、FC-126、FC-126V）
◎ふろ自動運転、おいだき、沸かし直し、たし湯、さし水の停止操作

配管洗浄について

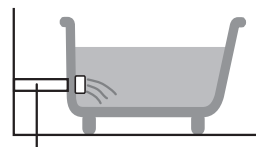
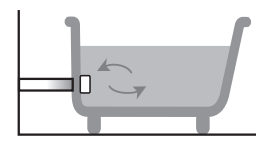
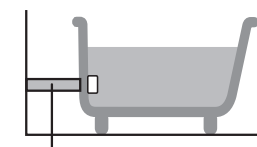
配管洗浄機能とは、ふろ配管内に新しいお湯または水を流し込み、
ふろ配管内の残り湯を押し出す機能です。お好みにより設定してください。
設定すると、自動運転または、予約運転でお湯はりをした場合、配管洗浄機能が作動します。
（配管内の雑菌などを除去する機能ではありません。）

◎初期設定はオフです。
　お好みにより設定してください。

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
　ここでは給湯リモコンでご説明します。

配管洗浄が行われるとき

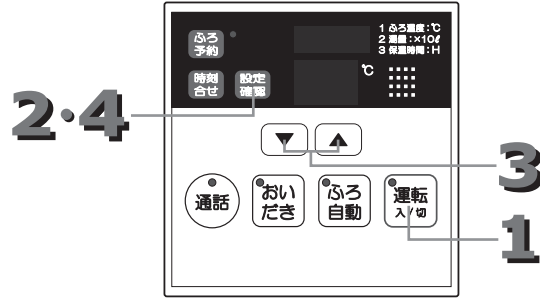
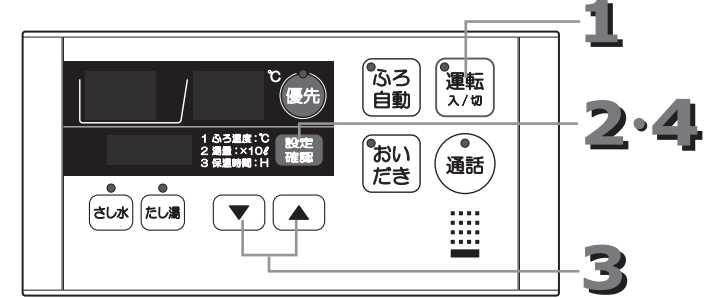
■フルオートタイプ…浴そう内の排水栓を抜いた後、
湯量がバスアダプターより下になったとき。

■オートタイプ…自動運転が終了したとき。
（ふろ自動スイッチが消灯したとき）
自動運転が終了すると、浴そうにお湯が
残った状態でも配管洗浄が行われます。

知っておいてね

●配管洗浄を行った後に沸かし直し（おいだき）機能を使用しないでください。
→配管洗浄で新しいお湯に入れ替えたふろ配管内に再度、浴そうのお湯が流れ込んでしまいます。
（オートタイプのみ）

→沸かし直し（おいだき）をした場合、たし湯機能または、さし水機能を使用してください。
ふろ配管内に新しいお湯（水）が流れ込み、ふろ配管内が配管洗浄後の状態に戻ります。（35, 37ページ）

●配管洗浄はリモコンの運転「入」の場合、ふろ設定温度のお湯を約7ℓ配管内に流し込みます。
リモコンが運転「切」の場合は、水を約7ℓ配管内に流し込みます。

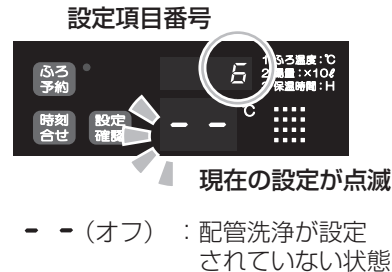
配管洗浄について

■給湯リモコン

■ふろリモコン

■ 配管洗浄機能を設定、または解除する手順

1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し,運転を「切」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号
「6」を選択する

設定項目番号

現在の設定が点滅

- ‐ ‐（オフ）：配管洗浄が設定されていない状態
- on（オン）：配管洗浄が設定された状態

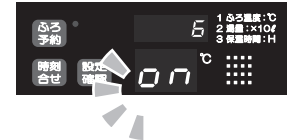
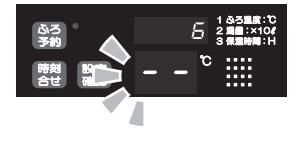
●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「4、ボイスガイド音」→「5、操作確認音」→「6、配管洗浄」→「切」と切り替わります。

※設定項目番号1～2は運転「入」時のみ変更可能な項目のため、表示画面に設定内容は表示されません。
※設定項目番号4はMC-126・FC-126リモコンでは設定がないため、表示画面に設定内容は表示されません。

3 選択スイッチを押し、設定する

●設定する場合
→ ▲ **スイッチを押す**

【設定】オン表示が点滅

●解除する場合
→ ▼ **スイッチを押す**

【解除】オフ表示が点滅

4 設定/確認スイッチを押す

●配管洗浄機能が設定または、解除されます。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過すると手順 で選択した表示のまま設定が完了します。

点検とお手入れ

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼してください。
●お手入れの際には必ず給湯風呂システムの電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
なお、電源プラグを抜くと時刻設定・通話の音量設定・ボイスガイドの音量設定・操作確認音/お知らせ音の音量設定・省電力モードが初期化され、チャイルドロックが解除されます。再度設定してください。
●お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

点検のポイント（ご使用のたびに）

1.運転中に異常音は聞こえませんか？

2.外観に変色等の異常はありませんか?

お手入れのしかた（月に１回程度）

水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて
汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る

おねがい

●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。
機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
●ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
給湯リモコンは防水タイプではありません。
●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。

■給湯リモコン

■ふろリモコン

エラーコード

※エラーコードはお使いの給湯風呂システムによって異なります。
エラーコードの詳細は給湯風呂システムの取扱説明書をご参照ください。

エラーコードが表示されたら

1,下記の操作を行ってください。

①お湯を使用している場合は、給湯栓を閉めてください。

閉める

②ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。

全開にする

③リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。5分ほど待ってから再び運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

④給湯栓を再び開けてください。

開く

2.それでもなおエラーコードが表示される場合、
●お使いの給湯風呂システムの取扱説明書に記載されたエラーコード以外が表示される場合は、3へ
●お使いの給湯風呂システムの取扱説明書に記載されたエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にする。取扱説明書に記載された処置をした後、再使用する。
それでもエラーコードが表示される場合は、3へ

3.給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼する。このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

故障かな？と思ったら

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときやご不明な点は、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現　象	原　因　と　処　置
リモコンのスイッチが点灯しない	●停電している ●電源プラグが抜けている
スイッチを押すとリモコンの表示画面に「ーー」が表示される	●チャイルドロックが設定されている（57ページ）

凍結を防ぐには

●給湯風呂システムの凍結を防ぐために、外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温し、また、ポンプで浴そうの水を循環させて凍結を予防します。
（詳しくは給湯風呂システムの取扱説明書を参照してください。）

注意

※水抜きの際に操作するスイッチは給湯風呂システムの取扱説明書には「湯量スイッチ」を5秒間押すとご説明していますが、FC-126・FC-126V・FC-126Dリモコンでは「さし水スイッチ」と「たし湯スイッチ」を同時に5秒間押してください。

保管とアフターサービス

●保管のとき（長期間使用しないとき）は、リモコンの運転を「切」にし、給湯風呂システム本体の水抜きを行ってください。
（詳しくは給湯風呂システムの取扱説明書をご覧ください。）
※水抜きの際に操作するスイッチがリモコンにより異なります。
本説明書の「凍結を防ぐには」（左ページ）の注意文をお読みください。
●アフターサービス・保証については給湯風呂システム本体に準じます。
●給湯風呂システム本体の取扱説明書に保証書がついています。
必ず「販売店名」や「お客様名」などが記入されていることをご確認ください。
●当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器やリモコンに故障が生じた場合、明示した期間、条件のもと無料修理を行うことをお約束いたします。（詳しくは保証書をご覧ください。）
●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても有料修理になる場合がありますので、大切に保管してください。

保管とアフターサービス

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。
パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象(できるだけ詳しく)
- 品名
- 給湯風呂システムの器具名（銘板表示のもの）
- ご購入日・ガス種
- 道順

≪修理についてのお問い合わせは≫

パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

≪商品についてのお問い合わせは≫

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

パロマお客様相談室 **052-824-5145**	受付時間：平日　8：30～18：00（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）
〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】

受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3－11－9大平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5101	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

24. 4.　◎　H　30　02316